

北九州市立枝光台中学校

えだみつだい

校長 戸次 健治

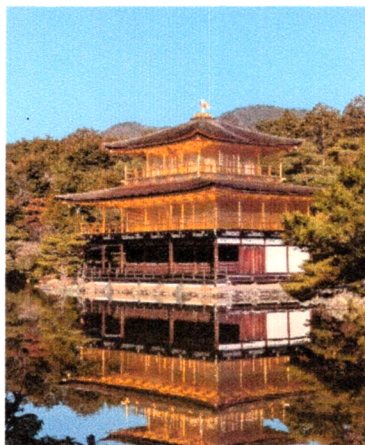
【校 訓】

「邂逅」「自律」「創造」

【学校教育目標】

「知・徳・体の調和のとれた心豊かで、学校や地域を
愛し自主自立の精神に満ちた生徒の育成」

修学旅行に行ってきました。



2月3日（火）から二泊三日で2年生が冬の関西方面への修学旅行に行ってきました。京都・奈良・大阪と、日本の歴史や文化を肌で感じる行程の中で、生徒たちは教科書だけでは得られない多くの学びを得ることができました。

一日目、京都での班別行動では、清水寺や八坂神社等の見学地をまわりながら事前に立てた計画をもとに京都のまちを歩きました。仲間と相談しながら行動する姿が多く見られました。道に迷うなど思い通りにいかない場面に直面しながらも、互いに声を掛け合い、助け合いつつ全班無事にホテルに到着しました。その姿に子どもたちの成長を感じました。

二日目は、水面に氷が張り、白く霜が降りている中で金閣寺を見学しました。冬の澄んだ空、水面に映る逆さ金閣は見事でした。奈良への移動後教科書で見るのとは違う東大寺南大門と大仏、本物が放つ圧倒的な存在感に、生徒たちの瞳が輝いていたのが印象に残りました。

三日目は最初の目的地、海遊館。暗い館内に浮かび上がる大水槽を前に、生徒たちからは「おおー！」という歓声が上がりました。太平洋を模した壮大なスケールの展示に、環境保護の大切さを再確認する姿も見られました。また、雄大なジンベエザメや愛らしいペンギンたちに癒やされ、生命の多様性について学びを深めました。その後訪ねた道頓堀では、活気ある街並みの中で「大阪の文化」を体験。たこ焼きや串カツを頬張る生徒たちの笑顔が非常に印象的でした。

冬の関西修学旅行。震えるような寒さの中でも、生徒たちの笑顔は絶えませんでした。鹿せんべいを手に奈良公園を駆け回ったこと、ホテルで温かい夕食を友と囲んだこと。当たり前のような景色の一つひとつが、実はかけがえのない思い出であることに気づかされた修学旅行でもありました。この旅で学んだ『規律』と『友情』を、残り少ない学校生活にどう繋げていくか。彼らの今後の活躍が楽しみです。

4月より、市内中学校が二学期制になります。

報道やテトルですすでにお知らせをしていますが来年度より市内の中学校が10月に秋休みを入れて二学期制になります。二学期制への移行により、これまで学期末の事務作業等に充てられていた時間を、授業時間の確保や子どもたちと向き合う時間の充実に充てることが可能となります。また単元の区切りを長くすることも可能となり、単元のまとまりを意識したより深い学びを継続できるメリットがあります。大きな変化となりますが、子どもたちが落ち着いて学校生活を送れるよう、教職員一同、万全の準備を進めてまいります。